

川口街ある記

I ♥ KAWAGUCHI



院内『ひまわり保育園』



交通

- JR京浜東北線「川口駅」下車 徒歩15分
- 埼玉高速鉄道「川口元郷駅」下車 徒歩5分
- 「川口駅」東口バス停11番・12番・14番乗り場(国際興行バス・東武バス)のいずれかに乗車[約7分]→「川口工業総合病院」下車 徒歩1分



医療法人 新青会 川口工業総合病院 TEL.048-252-4873 FAX.048-252-4865
〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-15



川口工業総合病院
<http://www.kogyohsp.gr.jp/>



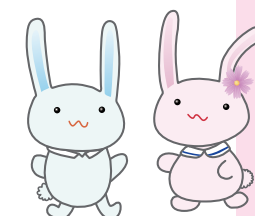
川口工業総合病院看護部
<http://www.kogyohsp.gr.jp/kangobu/>

看護職員募集案内

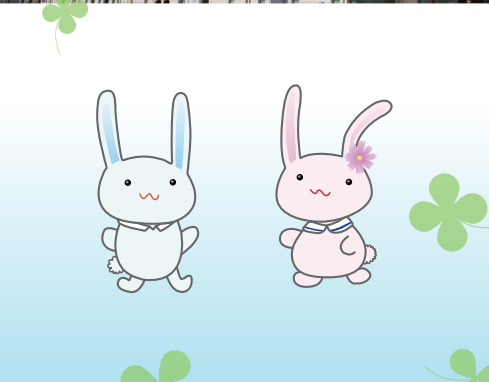
ひとりひとりに



医療法人 新青会
川口工業総合病院



KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL
NURSING GUIDE



担当医のご案内									
科	日	時間	医師	時間	医師	時間	医師	時間	医師
内科	月	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	火	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	水	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	木	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
外科	月	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	火	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	水	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	木	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
小児科	月	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	火	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	水	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄
	木	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄	8:00-12:00	馬場俊也	13:00-17:00	今岡雄雄



患者様のために、私たち看護師は家族のようでありたい。

川口工業総合病院は1959年に発足してから、川口地区に医療を提供し、地域貢献を果たしてきました。2010年6月より医療法人化し、医療体制の整備・充実につとめ地域に必要不可欠の医療を提供させて頂いております。2013年11月24日新病院に移転した記念すべき日です。新病院への移転は全職員の望みでした。

病院組織の中で一番人数が多く占めているのは看護師です。病院が成り立つために、一人ひとりの看護師にチカラを発揮してもらうことが大切です。資格を持っている医療人の一人として忘れてはいけないのが、患者様の視点です。資格の持っているプロとして恥じないように「あたたかい、心のかよう看護」をしてほしいです。

新人看護師が先輩看護師となるためには、知識を身に付け、経験を積み重ねる必要があります。院内外研修での学びの場は計画的に行っておりますが、日々の患者様との会話も学びの場です。会話の中にある訴えから、「どういうことだろう?」という意識で接する。新人看護師が入职し



た時に必ず言わせてもらっているのが「自ら学ぶ力・自ら考える力・自ら感じる力・自ら気付く力」この4つの力を付けてほしい。そうすれば、臨床の現場で一番必要な知識を学び、経験を積めます。ちょっとした知識、それがスタートラインになるはずです。

「患者様の視点に立ち、チカラを発揮できる環境」を作るのは、部長や師長の仕事です。常に、新人看護師やベテラン看護師たちと同じ目線になること。管理職であれば特に目線を低くすることが必要です。病院は患者様の治療の場であるが、それだけでなく、自分たちに何ができるか? 仲間で議論をして、お互いで作り上げていくことが、自分の職場が楽しい...病院が好きでいられる。

入院患者様の生活の場がそのまま私たちの職場です。一つ屋根の下にいるのですから、家族のように関わり合いたいと私は思っています。

認定看護管理者
看護部長 渡邊 くみ子

看護部理念

川口工業総合病院の看護師として、
地域の方々に選ばれる
『あたたかい、心のかよう看護』と
『安全で 行き届いた質の高い看護』を
提供します

看護部 基本方針

1. 急性期病院の看護師としての役割を担い、地域連携に貢献します
2. 患者様の立場を尊重した安全、安心を考慮した看護を実践します
3. 看護の立場から病院経営、運営に参画します
4. 看護師個々の力を充分発揮してチーム力を高め
魅力ある職場づくりをします
5. 研究意欲を養い、自己啓発と共に後輩指導の育成をします

平成26年度 看護部目標

1. 新設病棟の看護体制の確立
 - ①地域包括ケア病棟(4月開設予定)
 - ②心大リハビリの実施
 - ③HCUの新設
2. 地域医療の貢献
 - ①地域連携支援室との連携の強化
 - ②病棟内における情報の共有化
3. 患者・職員満足度の向上
 - ①満足度調査の実施
4. 質の高い看護を提供できる人材育成
 - ①経年的教育・現任教育の充実
 - ②クリニカルラダーシステムの構築
 - ③看護部全体研修の計画立案・企画・運営
 - ④役職・役割に応じた外部研修に積極的に参加
 - ⑤看護研究に取り組み、院外発表に参画
5. 管理職間の情報共有、「成果」の意識
 - ①看護管理者の役割の明確化と情報共有
 - ②看護部組織運営の安定化
 - ・入院基本料、施設基準の維持
 - ・職員のモチベーションアップ
 - ③適正なベッドコントロールの確立
 - ・有効なショートカンファレンスの実施(AM・PM各1回)
 - ・入退院時間の検討
 - ・クリティカルパスの検討
 - ・病床稼働率90%以上(年間平均)
6. 就業規則の改定版の理解
就業規則の理解と規則に沿った看護部の運営を実践

病院概要

- 開設 1959年川口工業健康保険組合の直営病院として設立
2010年6月1日医療法人新青会川口工業総合病院に
名称変更
- 病 院 長 矢口 輝仁
- 看護部長 渡邊 くみ子
- 病 床 数 199床
一般急性期入院基本料(7対1) DPC対象 153床
HCU(4対1) 8床
地域包括ケア病棟(13対1) 38床
- 診療科目 内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・呼吸器内科
・外科・消化器外科・産婦人科・整形外科・リウマチ科・
眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・小児科・リハ
ビリテーション科・麻酔科・アレルギー科・放射線科・
健康管理科
- 職 員 数 438名(パート含む・H26.5.1現在)
(看護系職員239名)
- 外来患者数 553人/日(H25年度)
- 入院患者数 176.4人/日(H25年度)
- 福 利 厚 生 奨学金制度有り(進学、認定看護師等)
- 院内保育園 ひまわり保育園

病院理念

地域とともに歩む医療

～愛と誇りをもって信頼される病院を目指します～

基本方針

- ①地域住民、地域医療機関とともに密着した医療の提供
- ②患者様や家族とともに取り組む医療
- ③職員がともに尊重しあい協力して行うチーム医療

行動指針

1. 二次救急医療機関として地域に貢献します
2. 急性期病院として他医療機関との連携を推進します
3. 患者様の権利を尊重しプライバシーの保護に努めます
4. 専門性を高める人材育成に組み質の高い医療を
提供します
5. 安心信頼される医療提供のための健全経営に努めます



教育理念

看護部理念に基づき、あたたかい看護、
質の高い看護を提供できる看護師を育成する

平成26年度教育目標

1. 安全、安心な看護を実践して行く為の能力
「知識・技術・態度」を養う
2. チーム医療の一員として自律した看護師として
役割遂行できるよう支援する
3. 後輩、看護学生に対して適切な指導ができる
4. 業務改善を目指した研究的姿勢を持つことができる

川口工業総合病院の看護師像

1. 一人ひとりが状況に応じた適切な判断と行動ができる看護師である
2. 一人ひとりがあたたかい、思いやりのある看護師である
3. 一人ひとりが自分に責任を持って行動ができる看護師である
4. 一人ひとりが自ら学ぶ姿勢を持っている看護師である
5. 一人ひとりが医療人としてのプライドのある看護師である

院内研修一覽

中堅看護師

1. 自分のやりたい看護を見出す
2. 専門性を看護実践に活かす
3. 何事も自主的に行動し計画に沿って進めていく



卒後2年目

1. 事例をまとめて院内発表することができる
2. 日々の看護実践を振り返り、事例研究を通して今後の看護に活かすことができる
3. ①他部署の役割を理解できる
②プリセプターシップを理解できる

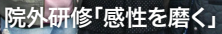
卒後4年目

- 卒後5年目

- ## 1. チーム医療メンバーが楽しく働ける方法を学ぶことができる



院外研修「感性を磨く」

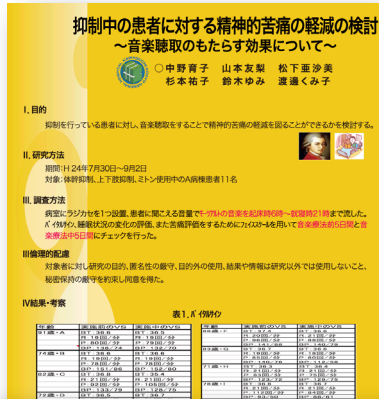


看護研究発表

看護研究は、各部署で取り組んでおり「日本看護学会学術総会、埼玉県看護研究学会、第7支部看護研究発表会、川口医師会学術総会」その他専門学会等で毎年積極的に発表しております。特に卒後3年目研修では初めて看護研究に取り組み、日々、疑問に思っていることから柔軟な発想で看護や研究に対する楽しさを学んでいます。

4月3日(木) 1日目	8:30～10:00 10:00～11:30 11:30～12:00 12:00～13:00 13:00～14:00 14:00～15:00 15:00～17:00	入職時書類一式・免許証について/看護協会・看護連盟について オリエンテーション・卒1研修担当者紹介/仲間作り ～自己紹介～ 社会人としての身だしなみ 昼食・休憩 電話の取り方 ナースコールの対応について 院内ラウンド各病棟・外来紹介他
4月4日(金) 2日目	8:30～12:00 12:00～13:00 13:00～17:00	安全で確かな薬・薬品の安全な取り扱い(DVD・実技・演習) 採血・サーフロー・BS測定(必要物品・モデル腕使用で実技・演習) 昼食・休憩 院外研修(感性を磨く～ブラインドウォーク～) 場所:川口西公園 ※現地解散、雨天時は予定変更
4月7日(月) 3日目	8:30～12:00 12:00～13:00 13:00～17:00	リスクマネージメント 昼食・休憩 看護の場面における感染対策 (DVD・実技・演習)
4月8日(火) 4日目	8:30～9:30 9:30～12:00 12:00～13:00 13:00～15:00 15:00～17:00	採血・軽食 看護技術①(清潔援助・更衣・口腔ケア・体位交換・おむつ交換など) 昼食・休憩 看護技術②(吸引・酸素吸入等) 看護技術③(導尿・尿道留置カテーテル・グリセリン浣腸・坐薬・清潔操作)
4月9日(水) 5日目	8:30～11:00 11:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:30 14:30～17:00	歩行・移動・移送時の介助、活動制限のある患者への介助、 車椅子・ストレッチャーの使用手法他(講義・実技・演習) 電子カルテについて①(外来・勤務希望・食事申し込み等) 昼食・休憩 医療ガス(酸素ボンベなど)の取り扱い ME機器の取り扱いについて①(輸液ポンプ・シリンジポンプ)
4月10日(木) 6日目	8:30～11:00 11:00～12:00 12:00～13:00 13:00～17:00	電子カルテについて②(看護記録・講義) 健康診断(診察・計測・X-ray) 昼食・休憩 電子カルテについて③(看護記録・演習)
4月11日(金) 7日目	8:30～12:00 12:00～13:00 13:00～13:45 14:00～16:00 16:00～	ワークショップ テーマ「1年後の自分」 ①3分間スピーチ ②発表 テーマ「今後に向けての心構え」 ①グループワーク ②発表 昼食・休憩 プリセプターとの顔合わせ・交流会 院外研修の手続き方法・受講の注意 まとめ

4月	入職者オリエンテーション 集団研修 ★院外研修 「新人のためのフィジカルアセスメント」 ★院外研修 「新人職員研修」 看護必要度研修
5月	★院外研修 「接遇の基本」 ★院外研修 「新人のための救急看護／心電図」 ★院外研修 「新人のための薬の知識」 ★院外研修 「新人のための臨床検査の基礎知識」 ワークショップ テーマ 「5月病を乗り切ろう!!」
6月	死生観について(エンゼルケア含む) ワークショップ テーマ「生命の大切さを考える!!」
7月	ワークショップ テーマ 「モチベーションアップ!!」 ①3分間スピーチ (アサーション含む) ②フリーカード法
8月	死生観について(エンゼルケア含む) ワークショップ・テーマ「命の大切さを考える」
9月	ME機器の取り扱いについて (人工呼吸器)
10月	ME機器の取り扱いについて <その2>(人工呼吸器)
11月	ワークショップ・テーマ「モチベーションアップ!!」 ①3分間スピーチ(アサーション含む) ②フリーカード法
12月	心電図について
1月	災害看護について
2月	1年間のまとめ ワークショップ・テーマ「患者様からの学び～事例の振り返り～」 3分間スピーチ(レポート提出、反省会(アンケート記入)、座談会



看護部長	2F病棟
副看護部長	3F病棟
	4F病棟
	5F病棟
	5F HCU
	6F病棟
	手術室・中央材料室
	外来・内視鏡室・カテ室・救急部・健康管理科
	手術室・中央材料室
	教育担当
地域連携支援室	

委員会

教育委員会	ICT(感染対策)委員会
事故防止委員会	安全委員会(事故対策・ICT・労働安全)
退院調整委員会	CS委員会
必要度スペシャリスト会	クリティカルパス推進委員会
プリセプター委員会	DPC委員会
実習指導者会	救急委員会
電子カルテ運用委員会	NST・給食委員会
褥瘡対策委員会	災害対策委員会
睦会	医療材料委員会
	広報委員会

2F病棟

2F病棟はベッド数38床、H26年4月新設の地域包括ケア病棟です。急性後期・回復期の全ての診療科の患者様を対象としていますので、幅広い分野の看護を経験し学ぶ事ができます。患者様の治療の経過に応じた適切な看護の提供と、専任の在宅復帰支援看護師を中心に、院内の多職種と連携・調整を図りながら、一日も早く在宅へ退院できるよう支援しています。まだスタートしたばかりの病棟ですが、これからの超高齢化社会では急性期医療から地域社会へ帰る為の中継点となる、重要な位置を占める病棟と考えて日々頑張っています。



3F病棟

3F病棟は、ベッド数45床の病棟です。主に下肢の人工関節やスポーツ外傷、肩の手術を目的とされた幅広い年齢層の患者様が入院されています。病院も新しくなり明るく活気に満ち、チームワークも良好です。専門的知識、技術を磨き患者様が一日でも早く社会やスポーツなどの現場に復帰出来るように願い看護ケアを提供しています。また、冬季には病棟スキーを企画し医師・看護師・コメディカルと、楽しい時間を設けています。



4F病棟

4F病棟は、ベッド数42床の混合外科病棟です。対応している科は主に、外科・眼科・耳鼻科・皮膚科・婦人科です。様々な疾患や看護を学ぶことができる病棟です。入院している患者様は、手術を受ける方・化学療法を受ける方・終末期の方が入院されています。私たち看護師は、医師とコミュニケーションをとりながら、患者様やご家族が安心して入院生活が送れるよう日々努めています。また、チームカンファレンスを実施し一人ひとりに合った看護・ケア・言動を心がけ、患者様の1日も早い社会復帰のために努力しています。スタッフは、明るく元気が特徴です。



5F病棟・HCU病棟

5F病棟は、一般病棟39床、HCU病棟8床で内科疾患を中心とする患者様が入院されている病棟です。そのような病棟で、看護師は、みんな助け合いながら清潔・排泄の援助や高度医療のケア、他職種との連携など、多岐にわたる業務を日々、奮闘しながら行っています。そして、看護師一人ひとりも患者様やそのご家族の立場になり、どんな時でも笑顔を保ち、思いやりのあるケアを提供し、「ここに入院して良かったと思っていただける看護」を目指して頑張っています。



6F病棟

6F病棟は、ベッド数27床の病棟です。急性期の治療から、リハビリの導入と実践、退院調整の介入、退院支援の実践など幅広い看護の提供をしています。他職種との連携を図りながら情報共有に努め、患者様を中心としたチーム医療を実践し、在宅での生活に備えて家族指導も行っています。嚥下障害のある患者様が食事を摂取できるように改善した時や、リハビリの実践により機能向上できた時などは、家族のように嬉しく感じる瞬間です。治療を終えて、患者様とご家族が安心して退院できることを目標に、明るく思いやりのある看護の提供を目指しています。



手術室

当手術室は4室あり、すべて違う色となっています。特にピンク色の部屋・オレンジ色の部屋は手術室ではめずらしいですが、暖かみがあり患者様・職員から大変好評です。手術件数は毎年増加しており、平成25年度は2000件を超えました。整形外科関節鏡手術では日本トップクラスの症例数を実施し、専門的な技術・知識を勉強し手術看護を実践しています。入院手術の際には、全例手術前にお部屋に伺い、患者様の不安を最低限にできるように、また、個々の患者様に合わせた、あたたかい看護を目指しています。



外来

診療科は18科で、1Fは整形外科、専門内科(循環器科・呼吸器科・神経内科・糖尿病科・腎臓内科)、一般内科、耳鼻科、眼科、その他心臓カテーテル室、内視鏡室の検査部門と救急部があり、2Fは消化器センター、脳外科、化学療法室(H25.11月開設)、婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、健康管理科で固定チームナースングを取っています。各外来は専門性が高く、外部研修に積極的に参加し、看護師一人ひとりが専門的知識・技術を高め、病院の窓口として、常に笑顔と思いやりを大切に、患者様に信用・信頼される病院を目指して日々頑張っております。

教育担当

「あたたかい看護、質の高い看護を提供できる看護師を育成する」を教育理念として、新人研修や卒後年度別研修、院外研修、全体研修など、主任・副師長・師長全員で協力して企画し、実施しております。各部署では、新人看護師をみんなで育てようとプリセプターを中心に熱心に指導しています。研修を通して、仲間作りを行い、いつも楽しく明るい笑顔を忘れずに、人として思いやりを持って患者様やご家族、そして一緒に働く仲間と接することができるように、共に学び、向上していけたらと思います。自分のなりたい看護師実現を目指して、一緒に頑張っていきましょう。



地域連携支援室

25年2月に専任退院調整看護師配置の療養支援室を立ち上げ、26年3月には医療連携室と療養支援室が統合され、地域連携支援室として新たに発足しました。地域連携支援室は、地域の医院・施設・福祉等との連携を司っています。診療の受け入れや診療の依頼など地域の医療機関の窓口としての役割と、患者サポート体制も強化し医療・福祉・介護などの相談にも対応しています。入院から在宅まで切れ目のない医療、ケアの提供に応じられるよう、地域にも出向かい顔の見える関係づくりに取り組んでいます。また、退院調整看護師として院内のチーム医療の充実を図るよう取り組んでいます。





1年目を振り返って

2F病棟 武井

卒後1年目を終え、様々な患者様から学ぶことが多くあり、貴重な経験をさせて頂きました。まだまだ知識・経験不足な点も多々ありますが、先輩方に助けて頂きながら、充実した看護業務を実践しています。

これからも学ぶことや悩むことも出てくると思いますが、日々の学習を忘れずに、また、1年間学んだことを糧にして、誰からも信頼してもらえるような看護師を目指していきたいと思います。同時に、看護師になった時の初心の気持ちを忘れないようにしていきたいと思います。

先

輩

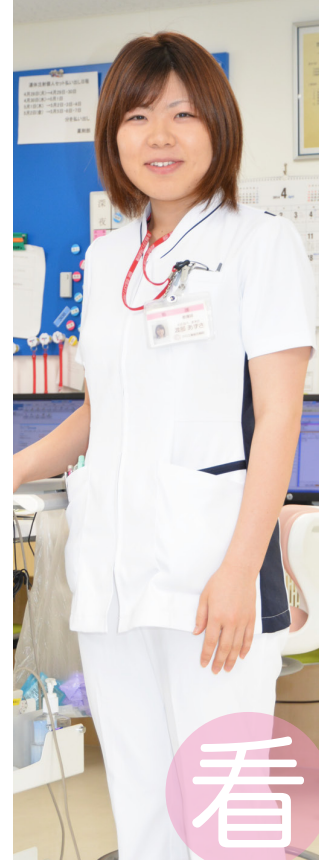


外科病棟勤務

4F病棟 高桑

私は常勤として入職し、日勤・夜勤と勤務を行っていましたが、妊娠を機に現在は日勤のみの勤務をしています。勤務体制だけでなく、日々の仕事でもスタッフの皆さんがとても体に気を使って下さり、毎日無理なく、楽しく看護業務を行う事が出来ています。

また産休・育休はもちろん、病院の保育室もあるので、育休後は子供を預けて復帰し仕事を続けていきたいと考えています。当院は、ライフスタイルが変化しても続けて行ける環境が整っています。



1年目を振り返って

3F病棟 渡部

入職して早1年。振り返ってみると初めの頃は、不安がいっぱいで自分の不器用さに悔しくて涙した日もありました。そんな私でもここまでこれたのは、一緒に働く先輩方の励ましや丁寧なご指導があったからこそだと思っています。

整形外科は、元気で明るい病棟です。そしてこれからは新しい後輩も仲間に加わってきます。そこで私も初心に戻り、先輩方に教えて頂いたことを日々にかしていき、先輩方のような先輩になれるよう、目標を持ちながら頑張っていきたいです。

看

護



1年目を振り返って

4F病棟 外門



私が外科病棟に配属されて一年がたちました。入職した時は毎日が不安ばかりでしたが、プリセプターの先輩をはじめとした周りの先輩方の指導、支えがあり辛いことも乗り越える事ができました。また、長期に入院していた患者様を送り出す時に患者様やご家族の方から感謝の言葉を頂くことでやりがいを感じ、看護師という職に対して誇りを感じます。技術や知識もまだまだ未熟ですが、早く外科病棟の即戦力となれるように日々励んでいきたいと思っています。

退院調整に関わってみて

6F病棟主任 東海林

当病棟は、退院調整を必要とする高齢の患者様が多く入院しています。急性期治療後、ADL機能向上を患者様とご家族と共に図り、退院後の環境を調整していくことを目標としています。調整に当たり、病棟看護師は患者様やご家族とのコミュニケーションを第一に考え、退院後の意向を療養支援スタッフへ伝えていく橋渡しの役割を担っています。患者様がQOLの高い状態で退院できるようケアカンファレンスを重ねて退院を迎えた時はこの関わりの醍醐味を感じられます。これからもより早い、スムーズな退院を目指せるよう携わっていききたいと思います。



師

の

声

川口工業総合病院看護部のマスコットキャラクター紹介
看護部職員によって「USAGI」が誕生しました。名前は「ハンド君とアイちゃん」です。名前の由来は、看護の「看」という字は「手と目」で手をかざしてよく見ると言う意味が込められています。「手に心をこめて人の心に触れることができるようにと手をハンド君、目をアイちゃんとししました。」



HCU病棟に異動して

HCU病棟 石上

私がHCUへ異動になったのは5年目の時でした。HCUでは重症な患者様がいため、多くのME機器を用いて患者様の状態を管理し、さまざまな疾患の患者様がいため多くの知識と技術が必要になります。そういった中で、今まで経験したことを活かすだけでなく、自分の知識を増し、臨床の場で技術を磨くことで患者様一人一人に密接な看護が行えることにとてもやりがいを感じています。HCUに異動してことでステップアップのできる日々を過ごせています。

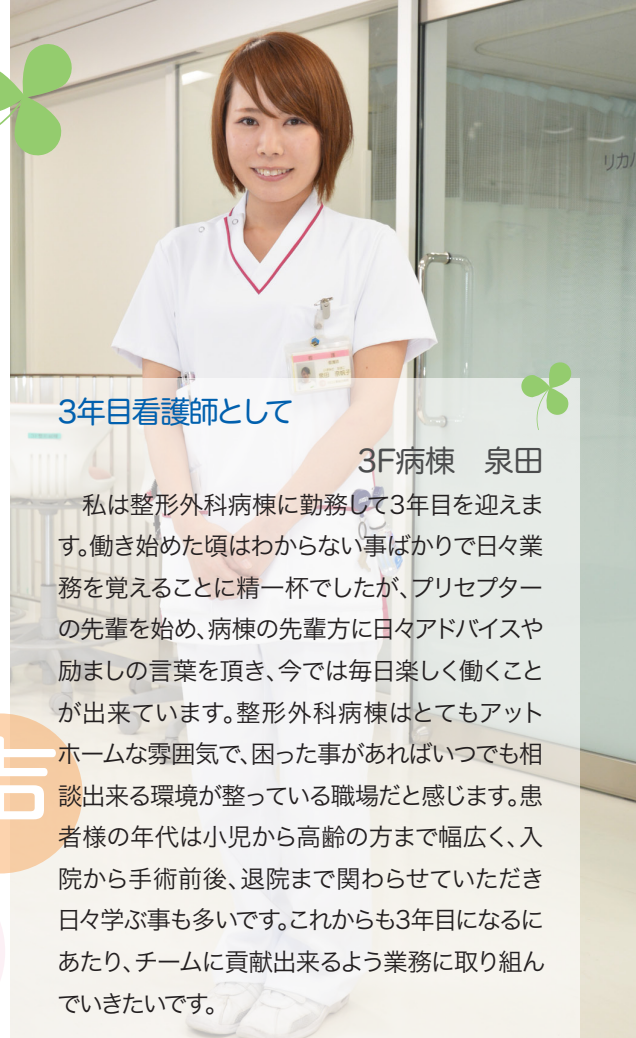


外来化学療法室の紹介

外来 上野

当院にて5年間の外科病棟勤務を経て外来化学療法室勤務となりました。化学療法は専門性が高く、確かな知識と技術が必要とされる為、医師や薬剤師、外来スタッフの支援を頂きながら1から立ち上げ、勉強しています。患者様が前向きに治療を受けられるよう、また安心して受けられるように、患者様に寄り添った看護を目指しています。

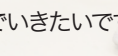
2児の育児をしながら勤務していますが、スタッフの暖かい協力を頂きながら仕事を続けられる明るい職場です。



3年目看護師として

3F病棟 泉田

私は整形外科病棟に勤務して3年目を迎えます。働き始めた頃はわからない事ばかりで日々業務を覚えることに精一杯でしたが、プリセプターの先輩を始め、病棟の先輩方に日々アドバイスや励ましの言葉を頂き、今では毎日楽しく働くことが出来ています。整形外科病棟はとてもアットホームな雰囲気、困った事があればいつでも相談出来る環境が整っている職場だと感じます。患者様の年代は小児から高齢の方まで幅広く、入院から手術前後、退院まで関わらせていただき日々学ぶ事も多いです。これからも3年目になるにあたり、チームに貢献出来るよう業務に取り組んでいきたいです。



手術室勤務

手術室 染谷

手術室に配属されてから4年目になり、最初は何も解らなかった器械の名前や手術の流れを教える立場になりました。全く余裕のなかった1年目を考えれば、余裕を持って手術に臨むことができるようになったと思います。くじけそうになってもやさしく声をかけてくれる先輩方のおかげでここまで成長できました。1年目の頃の自分を思い出して、共に学びながら成長できたらと思います。また、患者さんの持つ手術に対する不安や緊張を少しでも緩和できるように積極的に行動していきたいと思っています。

